急 報

解体業者の皆さまへ　　JARP 2019.3　A-1830

エアバッグのリコール届出が行われました!!
対象エアバッグの取外回収をお願いします

平素は、エアバッグ類の適正業務の遂行にご尽力いただきありがとうございます。

さて、今般2019年3月15日付にて以下メーカーの一部車両において、リコール届出が行われました。つきましては、以下「2.確認手順」に従い、対象車台のリコール対策済みであるかご確認頂き、対策未実施の車台は取外回収をお願いいたします。

1.対象車両

メーカー名	対象車両	部 位	対策済ｽﾃｯｶｰ番号
ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社	平成 27 年 6 月～平成 29 年 9 月輸入の「XE」「XF」「F-PACE」の一部車両	運転席	外-2797
	平成 27 年 2 月～平成 29 年 1 月輸入の「ディスカバリースポーツ」の一部車両		外-2798

リコールの詳細内容、対象車台の範囲については、以下の HP にてご確認ください。

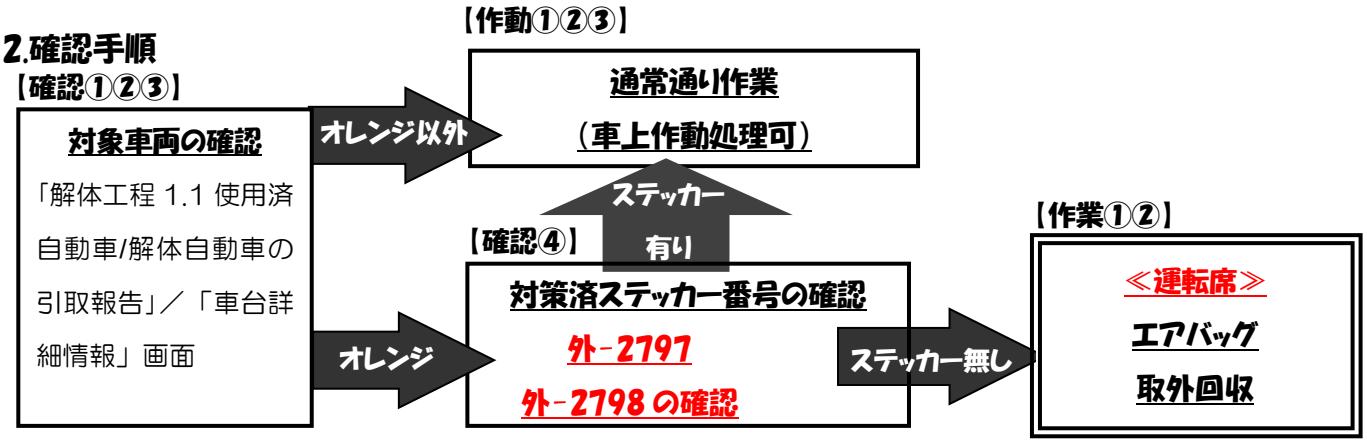
＜国土交通省 HP＞ http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall.html（H31/03/15）

＜ジャガー HP＞ https://www.jaguar.co.jp/ownership/recall.html（H31/03/15）

＜ランドローバーHP＞https://www.landrover.co.jp/ownership/recall-information.html（H31/03/15）

＜自再協 HP＞ http://www.jarp.org/（H31/03/19 掲載）

2.確認手順



自動車再資源化協力機構（自再協）

TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org

＜確認方法・移動報告画面＞

【確認①】対象車両の確認

◆1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告(解体工程)

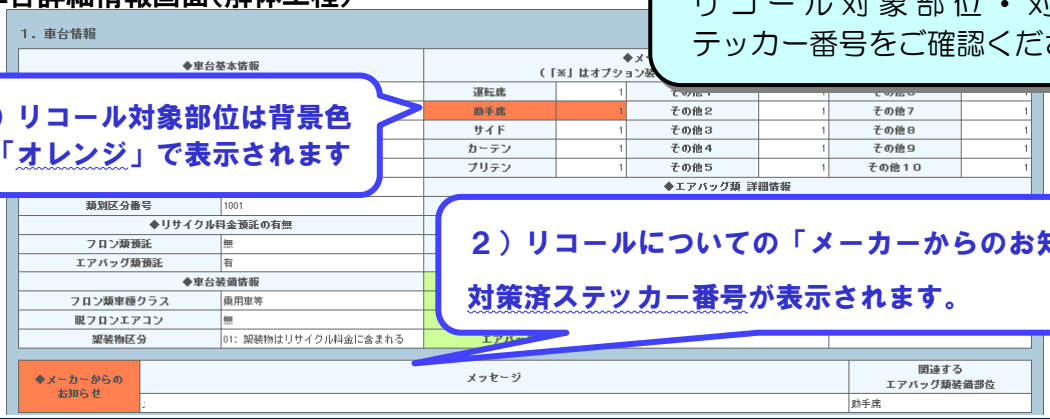
解体工程「1.1 使用済自動車/解体自動車の引取報告」にて、背景色が「オレンジ」で表示されている車台が、リコール対象エアバッグ類装備車両となります。

リコール対象車両は背景色が「オレンジ」で表示されます。

【確認②】対象部位の確認

◆車台詳細情報画面(解体工程)

オレンジ表示されている車台の「詳細」から車台詳細情報を開き、リコール対象部位・対策済ステッカー番号をご確認ください。



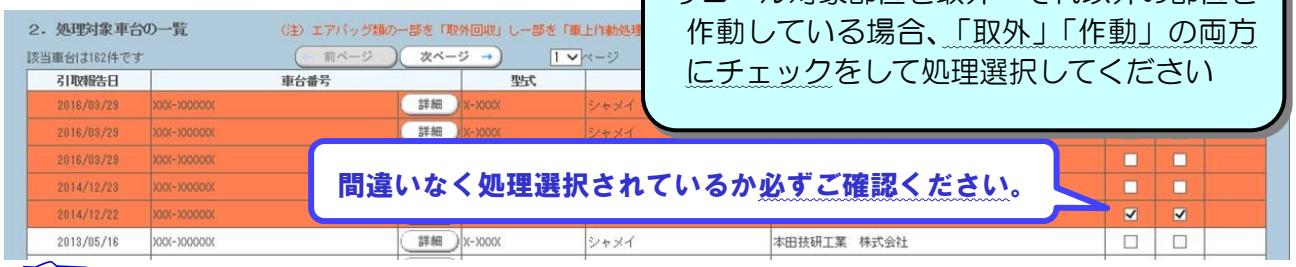
１）リコール対象部位は背景色が「オレンジ」で表示されます

２）リコールについての「メーカーからのお知らせ」に対策済ステッカー番号が表示されます。

【確認③】処理方法の選択の確認

◆1.10 処理方法選択画面(解体工程)

【車上作動契約がある場合】
リコール対象部位を取外・それ以外の部位を作動している場合、「取外」「作動」の両方にチェックをして処理選択してください

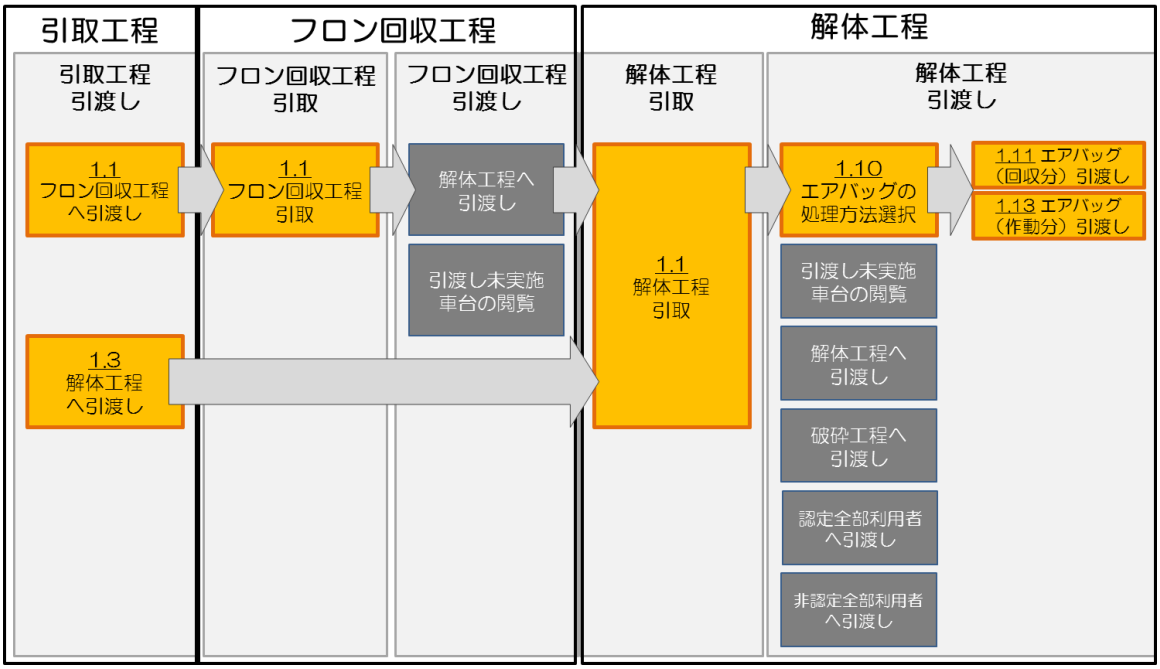


間違いなく処理選択されているか必ずご確認ください。

なお、「1.11 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告」「1.13 エアバッグ類(車上作動処理)の引渡報告」でもオレンジ表示が確認できます。

【参考 1】オレンジ表示確認画面範囲

解体業者の方で、引取業とフロン類回収業を兼任されている事業所は、引取工程の引渡報告画面、フロン類回収工程の引取報告画面においても、リコール対象車台のオレンジ表記がされるようになっています。



自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面をご確認ください。また特別費用支払対象車両は、解体工程でオレンジ表示されているリコール対象車台となります。

【参考2】引取工程・フロン類回収工程での確認

◆引取工程の使用済自動車の引渡報告画面（解体業者兼任限定）

引取工程【1.1 フロン類回収業者への使用済自動車の引渡報告】【1.3 解体業者への使用済自動車の引渡報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。

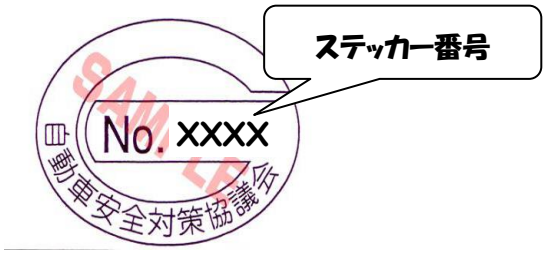
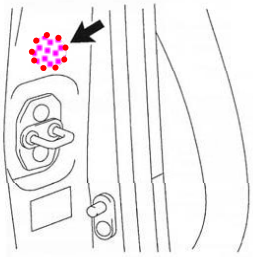
※自動車メーカーが実施するリコール車両の追加及びリコール対策済み車台の削除により、背景色の「オレンジ」表示は点灯・消滅することから、必ず解体工程の引取報告画面を確認ください。

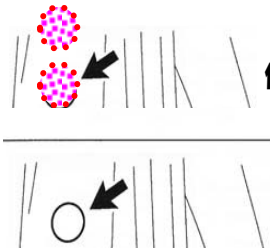
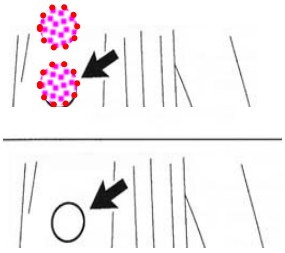
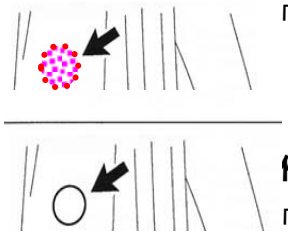
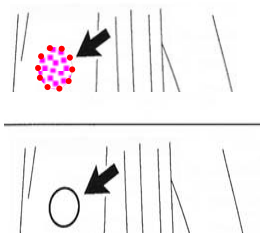
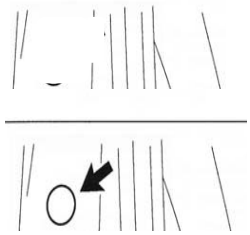
◆フロン類回収工程（解体業者兼任限定）

フロン類回収工程【1.1 使用済自動車の引取報告】画面にてリコール対象エアバッグ類装備車両の背景色が「オレンジ」で表示されます。

【確認④】対策済ステッカー有無、ステッカー番号の確認

手順①の対象車台については、以下の内容にて確認いただき、リコール未対策の場合には、必ず取外回収を行い、作業①②に従って指定引取場所に引き渡してください。

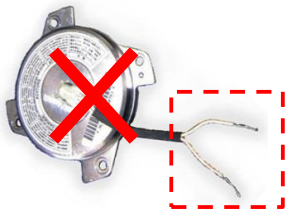
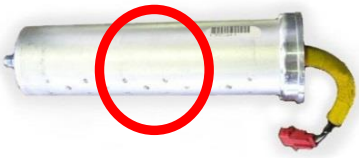
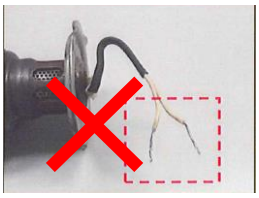
対策済ステッカー（例）	貼付場所
必ずステッカー番号を確認してください。  	運転席ドア開口部のドアロックストライカー付近に貼付されています。 

	リコール対策済み	リコール未対策
複数枚	該当する全てのステッカーを貼付  **例①** **「3456」ステッカーが貼付されている**	該当する全てのステッカー貼付  **例④** **「3456」ステッカーが貼付されていない**
1枚	最新ステッカーを貼付  **例②** **「3456」ステッカーが貼付されている** **例③** **「3456」以上（例：3457）ステッカーが貼付されている**	最新ステッカーを貼付  **例⑤** **「3456」以前（例：3455）ステッカーが貼付されている**
なし		 **例⑥** **ステッカーが貼付されていない**

（注） 車両によってリコール対策済ステッカーの貼付方法が異なりますのでご注意ください。

【作業①】リコール対象エアバッグの取外回収、分解

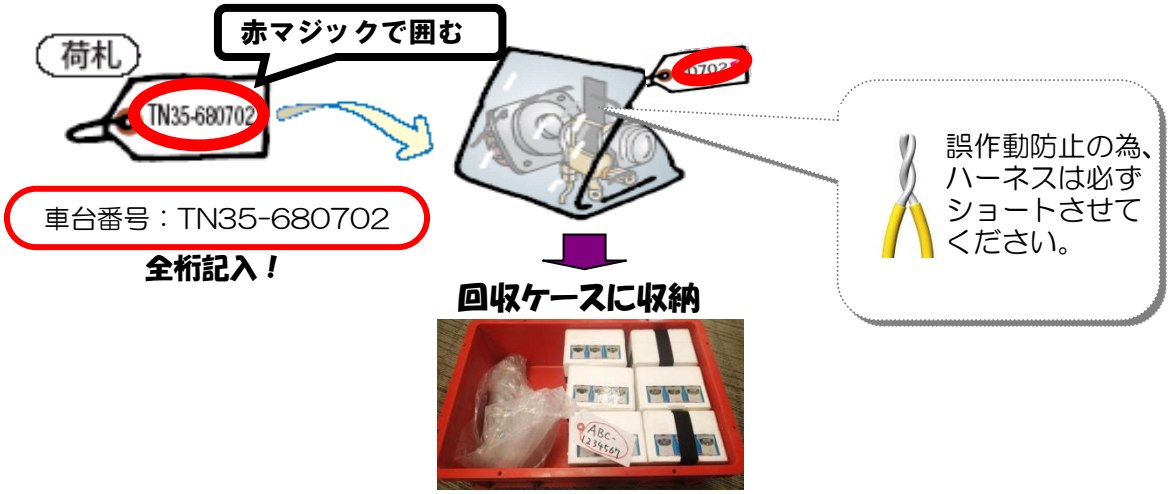
リコール対象のエアバッグを車両から取り外し**インフレータの状態まで分解**したら、以下の手順に従い指定引取場所に引き渡してください。

	正しい性状	誤った性状	
	・インフレータ状態まで分解 ・ハーネスを５ｃｍほど残して切断した上で、先端の被覆をむき撚り合わせてショート	分解不十分 （付属品がついている）	短絡不良 （ハーネスを撚り合わせてショートしていない）
運転席			
助手席			

【作業②】梱包

取外し後のインフレータは以下の要領で指定引取場所に引き渡してください。

通常通り、回収袋に収納し、「**全桁の車台番号（※）**」を書いた荷札を付けてください。
その際、**荷札の車台番号を赤マジックで囲んでください。**
（※）指定引取場所等での車両特定の為、車台番号の全桁記入をお願いします。



万一、事故等が発生した場合は、現場を保存（写真等による保存でも可能）の上
速やかに自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

補　足

-- 車上作動処理委託契約事業者の皆さまは、以下の作業もお願いいたします--

作動 1.　**リコール対象外のエアバッグ類を車上作動処理し、実績を記録してください。**

☞ リコール対象のエアバッグを取外した後でも一括作動処理が可能です。

☞ 車上作動処理を行う際は、「ガラス等の飛散防止」「通電時の距離確保と遮蔽物の設置」「周囲の安全確保」等、安全対策を確実に実施した上で通電してください。

≪安全作業の一例≫

① ドアを閉め、全体カバーをかけてガラス等の飛散防止

② 通電時の距離（5m以上）を確保するとともに遮蔽物を設置。作業者は遮蔽物に確実に隠れる位置で通電してください。

③ 通電時のヘルメット着用

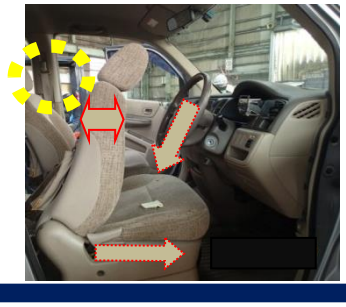
④ 通電時の周囲への声かけ。車台の周囲に人がいないことを確認してください。

※車上作動処理実施後、出火、異常な煙・臭いがないことをご確認ください

☞ また、車上作動処理実施の際、インフレータ等が破断し部品が車外に飛散する事象が稀に発生している為、従来の安全作業に加え、以下の対策実施を推奨します。

Ⓐ ハンドル位置を下げ、運転席のヘッドレストを最下部まで下げ、シートを前方に引き出すとともに前に倒す。

ハンドルの向きを下げ、シートを前に倒す事で、運転席側のインフレータ等の車外への飛散を抑えることを期待。



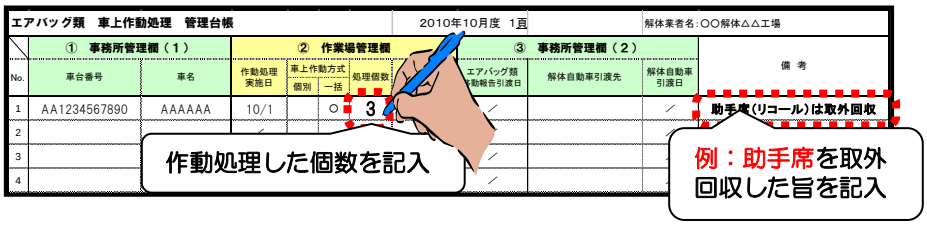
Ⓑ フロントガラスに毛布を置き、その上にカバーをかける

毛布をかけた上に更にカバーをかける事で、飛散防止効果を期待。

Ⓒ ボンネットを開ける

ボンネットを開けた状態で通電することで、インフレータ等の車外前方への飛散を防ぐことを期待。（ポップアップボンネット付車台を除く）

☞　車上作動処理実施後、速やかに処理結果を管理台帳に記入してください。
（備考欄に「リコール対象部位（例：助手席）は取外回収」と記入）



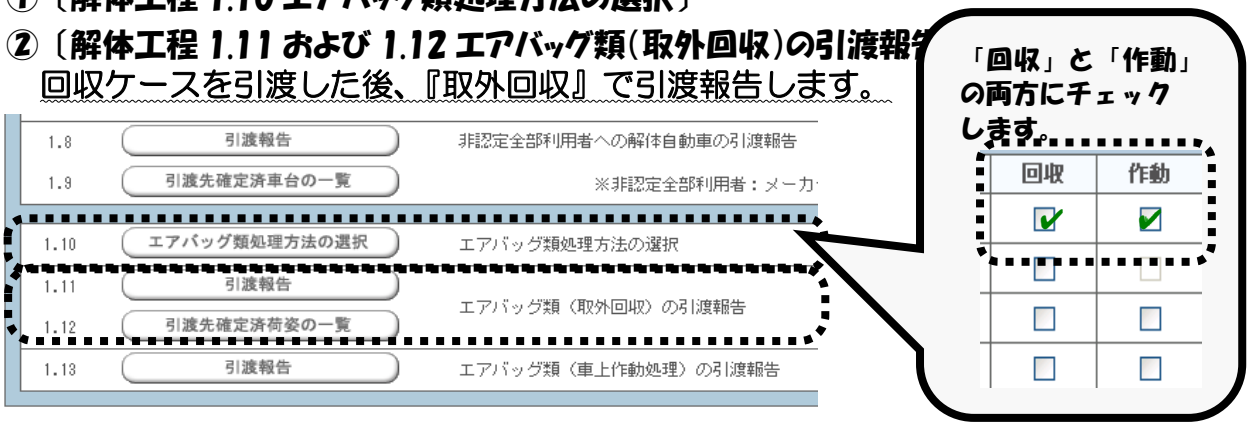
作動 2.　自動車リサイクルシステムへの入力

☞　「一部取外回収･一部車上作動処理」で引渡報告します。

①〔解体工程 1.10 エアバッグ類処理方法の選択〕

②〔解体工程 1.11 および 1.12 エアバッグ類(取外回収)の引渡報告〕

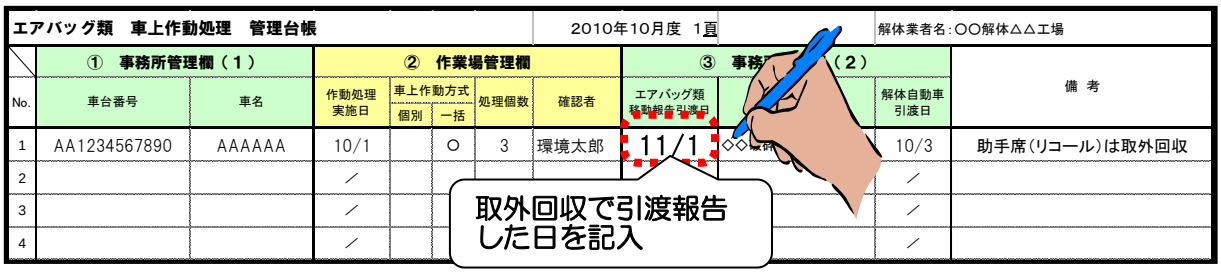
回収ケースを引渡した後、『取外回収』で引渡報告します。



「処理方法の選択」画面で、『回収』と『作動』の両方にチェックをした場合、
「車上作動処理」での引渡報告は必要ありません。

作動 3.　管理台帳のエアバッグ類引渡報告日を記入

☞　引渡報告が完了したら、管理台帳の
「エアバッグ類引渡報告日」欄にその日付を記入し保管します。



参 考

ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社　運転席エアバッグ リコール対象車両一覧

XE

XF

F-PACE

表中の車台番号にはリコール対象外の車両も含まれております。必ず移動報告画面の
オレンジ表示および車台の「対策済ステッカー：外-２７９７」の有無をご確認ください。

運転席

※国土交通省HPリコール届出より引用

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
ジャガー	CBA-JA2GA	「XE」	SAJAB4AGXGA900279～SAJAB4AG5HA977739 平成27年6月16日～平成29年3月24日	1, 252	
	CBA-JA3VA	「XE」	SAJAB4AV2GA900128～SAJAB4AV0HA970082 平成27年7月1日～平成29年9月28日	185	
	LDA-JA2NA	「XE」	SAJAB4AN0GA900127～SAJAB4AN3HCP05256 平成28年1月4日～平成29年2月6日	984	
	CBA-JB2GA	「XF」	SAJBB4AG1GCY00158～SAJBB4AG9HCY43888 平成28年2月7日～平成28年12月17日	364	
	CBA-JB3VA	「XF」	SAJBB4AVXGCY00139～SAJBB4AV2HCY43763 平成28年2月7日～平成29年9月28日	120	
	LDA-JB2NA	「XF」	SAJBB4AN9GCY00441～SAJBB4AN7HCY43676 平成28年2月7日～平成28年12月17日	426	
	CBA-DC3VA	「F-PACE」	SADCA2AV1HA045328～SADCA2AV0HA092883 平成28年4月19日～平成29年2月6日	370	
ジャガー	LDA-DC2NA	「F-PACE」	SADCA2ANXHA045327～SADCA2AN2HA093565 平成28年4月19日～平成29年4月10日	600	
	(計 8 型式)	(計 3 車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成27年6月16日～平成29年9月28日	(計4, 301台)	

参 考

ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社　運転席エアバッグ リコール対象車両一覧

ディスカバリースポーツ

表中の車台番号にはリコール対象外の車両も含まれております。必ず移動報告画面のオレンジ表示および車台の「対策済ステッカー：外-２７９８」の有無をご確認ください。

運転席

※国土交通省HPリコール届出より引用

車　名	型　式	通 称 名	リコール対象車の車台番号の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
ランドローバー	CBA-LC2A	「ディスカバリースポーツ」	SALCA2AG1FH500320～SALCA2AG5HH655147 平成27年2月1日～平成29年1月7日	1,159	
	(計1型式)	(計1車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成27年2月1日～平成29年1月7日	(計1,159台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれる場合があります。